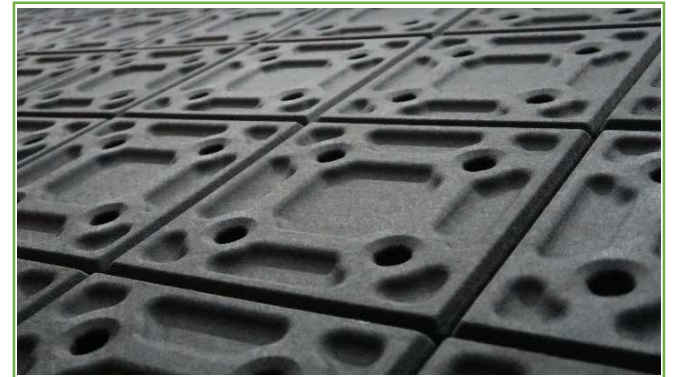


音響計測サービスの事業化と防音・遮音機能を持つ新製品の開発

事業者名	タケシンパッケージ株式会社
所在地	倉敷市連島中央4丁目4-23
主な業種	段ボール製函業
事業概要	●段ボールケースの製造、販売
	●ペーパーハニカムの製造、販売
	●一般包装資材の加工販売
	●吸音材の製造、販売
支援機関	香川銀行



事業環境の変化及び現在の経営課題 に対する認識と実施事業の必要性

コロナ禍や西日本豪雨災害といった自然災害に加え円安・物価高・少子化による人材不足・人件費の高騰など、中小企業を取り巻く環境は悪化の一途をたどっています。我が社では主要取引先の減産や売り上げ不振の影響を受けここ数年自助努力による売り上げ向上施策が追い付かない状況にあります。我が社としてもこうした状況に備え新たな基幹事業を構築することが急務であるとして2013年ころから緩衝設計技術を応用したカセット着脱式インテリア吸音材「カセットウォール&シーリング®」の開発に着手し、2021年特許を取得（国内・米国）2025年度から海外販売に向け中小機構・JETROなどの公的機関の支援を受け準備を進めています。この度実施する「音響計測サービスの事業化と防音・遮音機能を持つ新製品の開発」は一般消費者に対する正しい情報の発信（音響測定サービス）と音環境改善のためのデバイス両面からの課題解決に着手します。

取り組む事業内容

従来から行っていた岡山県立大学との共同研究で得られた残響時間の認知精度の指標と、今年度の研究テーマである「周波数帯域別残響音の快不快の調査」の結果を反映した音響解析評価指標の設定を、大学の研究者や音響計測機器の世界的メーカーであるNTi Audioの日本法人と共に行い、それら指標を用いた一般消費者むけの分かりやすい音響解析サービスを新事業として確立させる。我が社としては吸音材の事業を展開する過程で建築業者や一般消費者から音に関する相談を受ける機会も多く、これらの課題解決の手段としてわかりやすい音響解析評価手法を開発し、音環境についての課題が身近なものとして認識されるよう努力していきたい。また、現状最も多く寄せられている保育現場での音環境改善に関する問題について、吸音技術だけでは解決できないものも多く、遮音・防音技術と合わせた課題解決に取り組みたい。

実施事業により期待される成果

室内音響の分かりやすい評価基準を示すことにより、正しい情報の下で音環境の改善に取り組むことが容易になり、顧客満足度の向上とメイドインジャパンの信用と信頼性を得ることが出来る。また、音環境測定⇒音環境改善施策⇒結果確認のための再測定⇒データベースの更新といった手順の実施により、より実践的で精度の高いシュミレーションが可能となり、その結果、我が社の製品がマーケットに於いて本当に価値がある吸音材として認知される契機になる。またこれら開発過程で得られた成果が新たな材料や構造の開発を加速させるだけでなく、パートナシップによる課題解決能力の向上や地域連携（高梁川流域クロッシング）による市場の活性化も期待でき、グローバル化（海外進出）を目指す我が社の販売戦略にも相乗効果が期待できる。